事例No.	1154
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	鹿児島県鹿屋市

事例区分	一般行政

タグ	・専門人材の確保 ・適切な資産管理 ・人材確保・育成

事例種類	森林の集積・集約化

事例内容・タイトル

森林経営管理制度に基づく意向調査等の実施

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

鹿児島県　鹿屋市（森林経営管理制度に基づく意向調査等の実施）

- 鹿屋市では、所有者不明や境界不明により管理が行き届かない森林が増加し、災害発生防止や温暖化防止など森林の公益的機能の維持に支障が生じていること等を背景に、森林経営管理制度に基づく取組を進め、今後の事業の進捗等や関係者の意見をふまえ、森林環境譲与税の活用策を検討していく。
- 令和元年度においては、以下の取組を実施した。
  - 森林経営管理制度に基づく森林所有者への意向調査等の実施
  - 森林・林業に関して知識や経験を有する地域林政アドバイザーの雇用

□ 事業内容

1　森林所有者への意向調査等の実施

市内の私有林人工林10.46ha（42筆、17人分）の森林所有者に対し、今後の森林の経営管理の意向を調査し、市に委託を希望した1.34ha（５筆、２名分）の立木調査（プロット調査）を実施した。

【事 業 費】996千円（全額譲与税）

【実　　績】 意向調査面積　10.46ha（42筆、17人分）

2　地域林政アドバイザーの雇用

森林経営管理制度を円滑に実行するため、森林・林業に関して知識や経験を有する地域林政アドバイザーを雇用した。

【事 業 費】2,395千円（全額譲与税）

【実　　績】地域林政アドバイザー　１人





（事業１：集落説明会の様子）（事業２：アドバイザーの現地確認の様子）

□ 事業スキーム

1　森林経営管理制度の実行

１年目：意向調査

２年目：集積計画の作成

３年目：配分計画の作成、施業の実施

2　森林環境譲与税の活用策

令和２年度：人材の育成及び確保に関する施策を実施

（研修支援、装備支援、雇用支援）

事業の進捗等や関係者の意見をふまえ、具体策を検討する。

□ 工夫・留意した点

意向調査箇所の抽出に係る優先順位の設定（15年１巡を目安）

①地籍調査済み区域(所有者や地番、境界明確)

②森林経営計画作成済みの周辺（森林組合精通）

③市森林整備計画に位置づけた施業を推進すべき森林(木材の生産機能の維持増進)

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	19,080千円
②私有林人工林面積（※１）	8,522ha
③林野率（※２）	51.7%
④人口（※３）	103,608人
⑤林業就業者数（※４）	110人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」